

環境のひろば

219号

ふるさとを
きれいに
しましょう

発行者 / 岡山県環境衛生協会
会長 守屋新一

題字 / 岡山県知事 伊原木隆太

この広報誌は“ふるさとをきれいにする運動”を推進するために配布しております。



岡山後楽園提供

「岡山県環境衛生協会」の新会長に守屋新一氏を選出



会長就任あいさつ

守屋新一

この度、会長に就任した倉敷市支部の守屋です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

一昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、役員改選が年を越えてしまいましたが、ご理解をいただきたいと思ひます。

さて、当協会は今年で設立65周年を迎えました。昭和から平成時代にかけて環境衛生活動先進県をめざしてきた多くの先達の方たちに感謝と敬意を表したいと思ひます。

特に、昭和26年に岡山県知事に就任した三木行治氏が（旧）厚生省の局長時代に公衆衛生のグランド

デザインづくりに関わったこともあり、環境衛生先進県をめざしてきたからこそ今日の素晴らしい活動があると思ひています。

さて、令和時代を迎えた今、環境衛生活動のキーワードは「水環境の改善」です。全ての生物が生きていくうえで「水」はなくてはならない大切なものです。

また一方で、なにげなく「ポイ捨てをしてきたごみ」が海や川等環境汚染の原因になっています。この先悠久の時の行く末を思うと、私達は、今を生きる者として「水環境の改善」は喫緊の課題であります。当協会としては、今後も持続可能な環境活動を行政と共に推し進め「晴れの国おかやま・ふるさとをきれいに！！」を合言葉に快適で安心して暮らせる岡山県の実現を目指していきたいと思ひますので、皆様方の一層のご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

令和3年度 定例総会を開催

令和3年度の定例総会は、新型コロナウイルス感染症の影響により書面開催とし、令和2年度事業実績・決算、令和3年度事業計画・予算について審議し、承認されました。

また、例年、議事に先立ち行っている環境衛生改善活動に多大の功績があった団体、個人への表彰については、受賞者への表彰状及び記念品の送付をもって表彰式に代えさせていただきました。

岡山県知事表彰

◆環境衛生改善事業功労・団体

- ・有限会社ナオイ住宅建設(岡山市) ・北方東本町町内会(岡山市)
- ・山上町内会(岡山市) ・三軒屋本町町内会(岡山市)

◆環境衛生改善事業功労・個人

横田 徹(岡山市)	原田 耕作(岡山市)	川田 倫義(岡山市)	三宅 宅三(玉野市)	永間 正昭(玉野市)
和氣 勝(玉野市)	松嶋 一郎(岡山市)	中務八重子(倉敷市)	中村 榮子(倉敷市)	守屋 章(倉敷市)
相羽 貴子(倉敷市)	船曳八壽子(美作市)	岡阪 孝信(美作市)		

◆清掃事業功労

寺尾 邦弘(岡山市) 中本 勝(倉敷市) 塚本 和重(笠岡市)

岡山県環境文化部長表彰

◆環境衛生改善事業功労・個人

宮木 武男(岡山市)	濱田 久子(瀬戸内市)	只友 晴夫(玉野市)	信谷 昌吾(新見市)	大西 弘二(倉敷市)
古谷 敏郎(倉敷市)	柴田 泰三(倉敷市)	浅原 順一(倉敷市)	小山 満雄(倉敷市)	團迫 晃宏(倉敷市)
中村 俊明(倉敷市)	花巻美津子(倉敷市)	井上 始(美咲町)	杉本 正博(美咲町)	

◆清掃事業功労

梶 英正(岡山市)	田口 誠(岡山市)	坂道 賢一(岡山市)	竹本 茂光(岡山市)	新田 達範(岡山市)
岡馬 徹(備前市)	荒内 良浩(赤磐市)	本原 善広(里庄町)	新谷 修司(倉敷市)	森 広宣(倉敷市)
大津谷 巖夫(笠岡市)	川原 直樹(高梁市)	平野 睦宏(福山市)	藤井 浩二(笠岡市)	加藤 明(総社市)
飯山 雄一(倉敷市)	近藤 益巳(美作市)	石川 達也(美作市)	皆木 茂(美作市)	

岡山県環境衛生協会長表彰(支部名)

◆環境衛生改善優良地区

- ・粟井第4町内会(岡山市) ・北方四日市町内会(岡山市) ・吹屋町並保存会(高梁)
- ・勝山老人クラブ頼山会(真庭) ・里山のくらしと環境を守る会(津山) ・鏡野町立南小学校PTA(津山)

◆環境衛生改善地区育成功労

藤田 浩(岡山)	田淵 章(東備)	岡正 勝利(東備)	伊部 啓一(東備)	多田富士男(岡山市)
練尾 賢治(岡山市)	野上 正史(岡山市)	石井 洋司(岡山市)	岡崎 圭子(岡山市)	森安 林(岡山市)
大西 正志(岡山市)	三宅 義造(倉敷市)	大西佐代子(倉敷市)	高見 春彦(倉敷市)	上野 孝士(倉敷市)
原 肇(倉敷市)	重廣 秀利(倉敷市)	高須賀健三(倉敷市)	藤井 一二(井笠)	山下 幹次(井笠)
大本 正治(新見)	赤木 義雄(新見)	藤森 君子(新見)	小林寿満夫(真庭)	大橋 一巳(真庭)
青井 次郎(津山)	川端 祐司(津山)	杉本 正一(津山)	友保 修己(津山)	近藤 真二(津山)
松嶋 智之(勝英)				

◆清掃業務従事功労

平井 順次(岡山)	森本 誠治(岡山)	井原 浩一(東備)	久山 崇文(東備)	高月 裕之(倉敷市)
松尾 貴浩(倉敷市)	稻田 正己(倉敷市)	山田 正明(倉敷市)	赤堀 亘俊(倉敷市)	渡辺 裕之(井笠)
善積 寿子(井笠)	山室 廣行(井笠)	小野 和重(井笠)	三宅 孝幸(井笠)	平野 睦宏(井笠)
藤井 浩二(井笠)	加藤 明(井笠)			

(以上、敬称略)

■ 新しく選出された役員の紹介

会 長	理 事	野田 健一 (倉敷)	平川二美子 (新見)
守屋 新一 (倉敷市)	柴田 雅司 (岡山)	石井 悦子 (倉敷市)	大橋 一巳 (真庭)
	今中 慶一 (岡山市)	沖藤 孝志 (倉敷市)	近藤 亮一 (真庭)
副会長	熊代 勉 (岡山市)	鈴木 邦彦 (倉敷市)	北山 政士 (津山)
熊澤 義郎 (岡山)	澤井 博 (岡山市)	藤原 勝稔 (倉敷市)	村上 重夫 (津山)
久山 雅生 (岡山市)	杉本 和明 (岡山市)	守屋 章 (倉敷市)	岩本 硬司 (勝英)
延堂 俊輔 (東備)	鈴木 正二 (岡山市)	山本 光夫 (倉敷市)	
藤原 清和 (井笠)	二宮万太郎 (岡山市)	高木 早苗 (井笠)	監 事
櫻井 健一 (津山)	福井 孝子 (岡山市)	吉田 徳雄 (井笠)	松井 健治 (岡山)
岡阪 孝信 (勝英)	横田 徹 (岡山市)	徳森 勝造 (高梁)	大本 正治 (新見)
	更谷 暢久 (東備)	三村 秀樹 (高梁)	水嶋 史朗 (勝英)
	勘藤 倫子 (倉敷)	埜 俊二 (新見)	

■ 専門委員会の紹介

・総務委員会

総会及び理事会に提出する議題や会長表彰に関することについて議論します。

委員：澤井 博 杉本 和明 更谷 暢久 鈴木 邦彦 徳森 勝造 村上 重夫 岩本 硬司

・広報委員会

機関誌(環境のひろば)のテーマの選定などについて議論します。

委員：二宮万太郎 福井 孝子 野田 健一 藤原 勝稔 高木 早苗 三村 秀樹 近藤 亮一

・環境保全委員会

役員研修会について、研修の開催地や内容などについて議論します。

委員：鈴木 正二 横田 徹 石井 悦子 守屋 章 埜 俊二 大橋 一巳 北山 政士

・リサイクル委員会

レジ袋を削減してマイバッグを普及させるマイバッグ運動など普及啓発事業の内容について議論します。

委員：柴田 雅司 今中 慶一 熊代 勉 勘藤 倫子 沖藤 孝志 山本 光夫 吉田 徳雄 平川 二美子

環境大臣表彰

環境大臣表彰(生活環境改善功労者及び生活環境改善模範地区)として、県内の個人及び団体が表彰されました。例年、「生活と環境全国大会」の中で表彰式典が開催されておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって、表彰式典が中止されたため、受賞者の方へ環境省から表彰状等が送付されています。

■ 生活環境改善功労者(個人)

ねずみ、衛生害虫等の防除及び清掃等生活環境改善行政に対する協力又は地域の環境美化等に顕著な功績があった者に対して授与するもの。

- 本田 敏子 (足守地区環境衛生協議会)
- 江口喜代子 (倉敷市環境衛生協議会)
- 直原 美雪 (倉敷市環境衛生協議会)
- 松原 操 (倉敷市環境衛生協議会)
- 小野 利公 (里庄町環境衛生協議会)
- 美山 尚徳 (里庄町環境衛生協議会)

■ 生活環境改善模範地区(団体)

ねずみ、衛生害虫等の防除及び清掃等の地域の環境美化その他生活環境の改善を積極的に推進して顕著な成果を上げている地区に対して授与するもの。

- 岡山市立香和中学校 (岡山市)

支部だより

新見
支部

川ごみ・海ごみ清掃活動

新見市環境衛生協議会

私たち、新見市環境衛生協議会による川ごみ・海ごみ清掃活動についてお伝えします。

令和2年度は、倉敷市による高梁川流域瀬戸内海ブルー・オーシャン事業に参加させていただき、新見市では、高梁川に流入する木谷川のごみ回収と調査を高校生と一緒に行いました。

また、視察では、浅口市の寄島三郎島海岸のごみ回収と調査を行いました。

令和3年度は、新見市南部の高梁川沿い（絹掛の滝周辺）と高梁川に流入する小坂部川（大佐中学校付近）での川ごみ回収を行い、視察では玉野



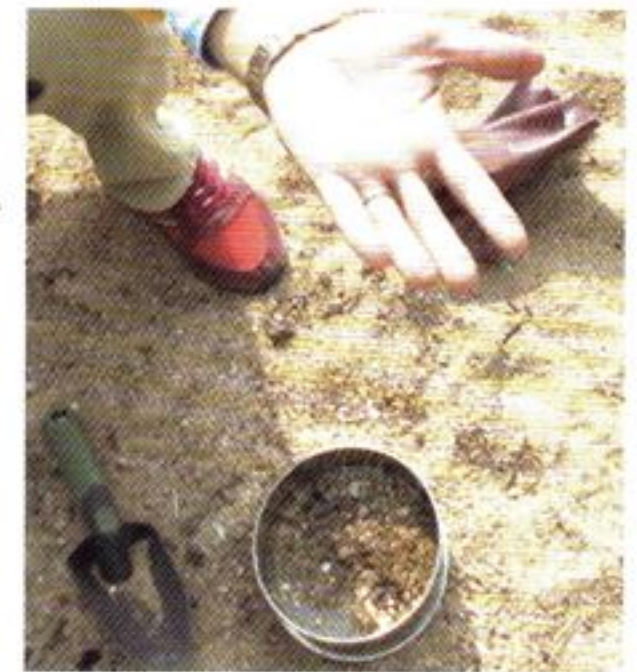
市の渋川海水浴場でのごみ回収を行いました。

渋川海水浴場では、砂浜の砂をふるいにかけて、砂に混じりこんでいるマイクロプラスチックを実際に目で見て確かめることができました。



川ではペットボトルやレジ袋の状態のものが、海に流れ着くと探すことができないほどの小さなプラスチックごみとして、存在することに驚かされました。

川や山へのポイ捨て禁止の呼びかけや、ごみにならない商品の購入を心がけるなど、引き続き環境活動に取り組んでいきたいと思ひます。

岡山
支部

生ごみの減量化に向けて

吉備中央町環境衛生協議会

ごみの減量化を進める上で、「生ごみの減量化」は重要です。

家庭から出される生ごみは水分が多く、収集及び処理が課題となっています。

生ごみは、コンポスト容器や生ごみ処理機により良質な堆肥にでき、家庭菜園や園芸用の肥料として活用できます。

町では、一般家庭から排出される生ごみの再利用を図り、ごみの減量化の促進を目的として、生ごみ処理容器（機器）設置整備事業補助金制度を設けています。補助金制度では、容器及び機器の

購入費用の2分の1を補助しています。（ただし、容器について限度額1万円、機器については、限度額3万円を上限としています。）

以上の補助金制度を通じて、生ごみの減量化を推進していきます。





環境美化功労者感謝状授与式・ 笠岡市廃棄物減量推進員研修会

笠岡市環境衛生協議会

笠岡市環境衛生協議会では、笠岡市と協力して令和3年12月4日に環境美化功労者感謝状授与式ならびに笠岡市廃棄物減量推進員研修会を開催しました。

環境美化活動などにより、地域の環境衛生向上に大きく貢献された方々を対象として表彰しているもので、本年度は個人16名と2団体に対して表彰を行いました。

表彰式終了後には、笠岡市廃棄物減量推進員への学習の場として、海ごみの問題や笠岡市のごみについての研修会を開催しました。当日の研修テーマは、「海ごみ問題と笠岡市のごみの現状」。まず海ごみ問題について説明が行われました。海ごみの種類や今話題となっているマイクロプラスチックについて説明され、海ごみが引き起こす様々な問題について学習しました。その



後、笠岡市のごみの現状について説明が行われ、笠岡市が目指しているごみ袋の完全有料化の必要性について学びました。説明の後には参加者から多くの質問が出され、ごみ袋の有料化への高い関心がうかがえました。



ごみが出ないっていいね！ エコテイクアウトの普及で 使い捨て容器ごみを削減

真庭環境衛生協議会

真庭市では上流の責任として、市民・飲食店・観光客が一体となり、ごみを増やさないライフスタイルを浸透、実践し、海ごみの削減を目指して



「エコテイクアウト」を展開しています。マイ容器、マイボトルへの商品提供だけでなく、無料給水スポットや量り売り、ごみ拾い応援など8項目の活動に1項目でも参加できれば登録してもらい、「ECO SPOT」タペストリーを印とし統一イメージを図っています。飲食店を中心にお寺、工務店など市内76軒の参加に広がっています。販売元も消費者も、ごみ削減を意識したライフスタイルへの変容がこれからの当たり前になることを願っています。



東備
支部

市内一斉清掃

赤磐市環境衛生推進協議会

赤磐市環境衛生推進協議会では、毎年9月の第1日曜日に「市内一斉清掃」を実施しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりましたが、今年度は感染症対策を万全に行ったうえで令和3年9月5日に道路・公園などに捨てられたごみを拾い、指定の集積場所に持ち寄りました。集まったごみは分別した後、行政が収集しましたが、写真のように多くのごみを集めることができました。

市内一斉清掃は、自分たちの住むまちを自分たちの手できれいにしようという気持ちを持つ多くの地区・町内会・清掃ボランティア団体の方々に

支えられ、今回で15回目となりました。市民の間ではすでに定例行事として定着し、多くの方が積極的に清掃活動に参加しています。

今後も環境美化や環境保全に対する意識がより一層高まるよう一斉清掃を継続していきたいと思っています。



循環と共生

豊かな自然を将来に繋ぎましょう

総社市環境衛生推進協議会

雄大に総社市を流れる一級河川高梁川。その流域は豊かな自然と魅力で溢れています。そんな高梁川ですが、近くで見ると意外に多くのごみが散見されます。無責任に捨てられたごみが高梁川を流れ、やがて海に流れつき、海ごみを生み出している悲しい現実があります。

去る10月29日、総社市では「そうじゃプラスチックごみゼロ宣言」が行われました。

私たちは、豊かな自然を将来に繋ぐため、責任をもって、美しい川と海、そして、美しい街をつくることを誓いました。

海ごみの問題は、沿岸部の街だけの問題ではありません。海のない内陸部の街も一丸となって取り組む必要があると考えています。私たち総社市環境衛生推進協議会でも、さらなるごみ減量の推進と、ポイ捨てごみの川への流出防止に努めていきます。

自分が捨てないのはもちろんのこと、誰かが落としたごみは拾ってあげる。そんな、地球に優しい心を持ち続けたいと願っています。一人ひとりの心がけで、豊かな自然を将来へ繋いでいきましょう。



提言箱

省資源・省エネルギー

玉野市環境衛生協議会

玉野市は、令和3年2月に岡山連携中枢都市圏として2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す取組を共同で行うことを宣言しています。

これを受け、私たち玉野市環境衛生協議会は、今年度初めて「小学生夏休み省エネチャレンジ」と題して市内の小学4年生から6年生を対象に夏休みを利用して「省エネ」にチャレンジしてもらいました。

たくさんの小学生がこの夏休みに「省資源・省エネルギー」について考え、工夫し実行してくれました。今回の「チャレンジ」は、ひとつのきっかけに過ぎません。省資源・省エネルギーは、継続してこそ効果を発揮するものだからです。

来年度から、玉野市は家庭系ごみの有料化が始まります。

ごみ分別は「混ぜればごみ、分ければ資源」、省資源・省エネルギーへの身近な取組の一つであり、これも継続することが大切です。

皆様も、今一度「ごみ」として捨てる前に、資源にならないか、また買う前に本当に必要かどうかを改めて考えてみませんか。



海ごみ削減の取組について

岡山県環境文化部循環型社会推進課
TEL. 086-226-7306

瀬戸内海のごみの多くは、私たちの普段の暮らしの中から出たごみが、川などを通じて流れ込んだものであると言われています。きれいな瀬戸内海を保つためには、沿岸地域だけでなく内陸部も含めた全ての地域の課題であることを認識して、皆さんの住んでいる地域からごみを発生させない心がけが重要です。

一方で、海ごみは、県境に関係ないボーダレスな問題で、瀬戸内海に関係する他の県とも連携した取組が重要です。県では、令和2年12月に瀬戸内3県（広島県、香川県、愛媛県）と公益財団法人日本財団と連携協定を締結し、瀬戸内オーシャンズXというプロジェクトが始まっています。閉鎖性海域である瀬戸内海をフィールドに、調査研究、企業・地域連携、啓発・教育・行動、政策形成の4つの柱で事業を実施しています。昨年10月には河川流域でのごみの調査結果が公表され、市街地の用水路など、ごみが集中的に溜まっている場所（ホットスポット）やごみが発生する要因について明らかになってきたところです。

県では、今後、調査で明らかになったホットスポットについて、市町村、町内会、学校や企業等、様々な方々と連携し、効率的なごみの回収方法や発生抑制の在り方を検討してまいりたいと考えております。引き続き、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



瀬戸内オーシャンズXホームページ <https://setouchi-oceansx.jp/>

賛助会員の環境衛生に関する取組・活動紹介 No.5

賛助会員：一般社団法人岡山県産業廃棄物協会（岡山市北区・平成3年度入会）

事業内容：廃棄物の適正処理及び循環型社会形成の推進、災害廃棄物処理の支援等

令和3年11月11日、県主催の災害廃棄物仮置場設置訓練が真庭市勝山運動公園で開催され、岡山県、真庭市及び協会の参加者64名と見学者83名が集まりました。協会からは総員80名が参加し、悪天候の中、敷鉄板・散水用資機材の設置訓練、木くず・畳の破碎処理実演、また、搬入車両の受入訓練、保管廃棄物の飛散防止・土間選別・温度管理等の訓練を行いました。災害廃棄物処理の初動対応で最も重要な仮置場設置について、この実地訓練を通じ行政との連携を深めるとともに協会内の初動体制構築の第一歩となりました。



木くず破碎処理実演、散水訓練



搬入車両受入訓練

※ 今後も賛助会員の紹介記事を掲載予定としています。紹介した取組・活動を参考にいただければ幸いです。

新規賛助会員の募集

当協会の活動は、賛助会員の皆様による支援金により成り立っています。地域に根ざした活動を引き続き行っていくため、当協会では、ご支援いただける個人・団体を募集しています。地元で行われている清掃活動や不法投棄防止運動、マイバッグ推進運動等へのご支援をお願いします。1口年間1万2千円で、1口から入会できます。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響により社会生活が一変し、本協会でも一部の活動を中止するなどといった影響を受けています。しかし、海ごみ・プラスチックごみや地球温暖化など様々な環境問題に直面しているという状況に変わりはありません。コロナ禍においても岡山県環境衛生協会ではできることをやっている、このようなことが本誌から伝わり、皆さまにも「環境衛生のためにできることをやっとうごう」と思っただけければ幸いです。

本協会も新たな役員が選出され、新たな会長が就任しました。コロナが収束することを願いながら、引き続き、環境衛生のためにできることをやっていきたいと思ひます。

岡山県環境衛生協会事務局

<p>わたしたちは環境関連事業を通して 社会の持続的発展に貢献します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理処分事業 ・環境調査事業 ・環境活動推進事業 ・公共施設等管理運営事業 <p>公益財団法人 岡山県環境保全事業団</p> <p>〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1 TEL 086-298-2122 FAX 086-298-2496</p>	<p>有害な生物防除のプロ集団</p> <p>カ・ハエ・ゴキブリ ノミ・ねずみ・ハチ等の防除</p> <p>一般社団法人 岡山県ペストコントロール協会</p> <p>〒701-0152 岡山市北区延友454 電話 086-293-5990</p>	<p>“生活排水の処理は浄化槽で”</p> <p>一般社団法人 岡山県浄化槽団体協議会</p> <p>会長 八田 富夫 副会長 乗藤 慎吾 " 大森 文太郎 常務理事 梶 英正</p> <p>〒703-8282 岡山市中区平井 1097 電話 086-276-8585 FAX 086-276-9081</p>
--	---	--

<p>お問合せ先</p>	<p>岡山県環境衛生協会事務局 (岡山県環境文化部循環型社会推進課内) 岡山県岡山市北区内山下 2-4-6 TEL.086-226-7307 FAX.086-224-2271 「環境のひろば」は当協会のホームページにも掲載しています。 (https://www.pref.okayama.jp/page/462962.html)</p>
---------------------	---